



第 1352 回例会報告

平成26年2月13日(木)晴

会長挨拶

会長 平山隆勇

我らの生業

私達ロータリアンの生業は先ほど歌ったロータリーソングのごとく様々です。そして私達がロータリークラブに入れる条件は職業をもっていること、無職では入会はできないのです。

自分がどうして今の職業を選んだか考えてみて下さい。子供のころから夢見た通りの仕事をしている人は私を含めそう多くはないと思います。いろいろな事情で現在の職業を選んだのでしようが、選ばざるを得なかったという方が正しいのかもしれません。

子供に対して行われる「将来なりたいもの」に関するアンケート調査は、子供向けの商品を扱う企業で度々行われています。その一つをみると、男子は「スポーツ選手(特にサッカー選手)」、女子は「食べ物に関わる仕事(特にパティシエ)」が圧倒的に人気のようです。子供の夢は純粋ではあるだけに、単なる憧れによるものかもしれませんが、しかし中には「人の役に立ちたい」という思いから看護師などの医療従事者、教師、保育士などを選ぶ子もかなりいるようです。

一方親は夢より安定を重要視します。従って公務員や国家資格を有する仕事、手に職をという事で「技術者」や「職人」を希望することが多いようですが、一方で子供の意志を尊重し応援したいという想いと、安定した将来を望む想いが交錯することも多いと思われます。

さて、もっと成長した子供、高校生はどんな職

業観を持っているでしょうか。ある調査によれば、仕事と自分の幸福とは別次元であると考えている若者が1~2割であるのに対し、仕事をすることで社会貢献でき、仕事を生き甲斐と感じられたらよいと考えている若者が凡そ4割を占めるとのことです。この4割を占める若者の中からロータリアンが生まれるのか、そうでない若者が人生のどこかの時点で「職業を通じて世の中に奉仕する」ことの大切さに気づき、ロータリアンになるのか分かりませんが、ここに集まっている皆さんのように、人生の前半あるいは中間位でそのことに気付くことができたのはとても幸せなことだと思います。

私達全員が、社会に役立つものは全て立派な職業であることを認識し、自分の事業を発展させ、社会に貢献し、そして自分の人生も豊かで満足できるものにできることを願い、本日のあいさついたします。

■出席報告

会員数	37名
出席対象	36名
出席者数	33名
出席率	91.37%
前回修正	77.8%

■ニコニコBOX

24名	31,000円
累計	760,000円
目標額	130万円
達成率	58.0%

■今週のこトバ

森山さん諏訪湖の話をよくお願いします。
おみやげ、講師料はありませんが本当に参考にさせていただきます。
萩田均

■次回のプログラム

2月27日

会員卓話

大澤邦彦会員

職業奉仕委員会



◇幹事報告◇

【報告事項】

- 1) 北原会員よりバレンタインのプレゼントをいただきました

本年度のIM 予定

IMのPRに富士見ロータリークラブの川角会員がお見えになりました。

月日 2014年3月30日

時間 PM1:00

会場 マリオローヤル会館

場所 茅野市ちの 3502-1

本年度のIMテーマ「環境保全・自然と共存」
サブテーマ「豊かな自然環境の中で生活する喜びを未来へ」

会員セミナー「ロータリーにおける奉仕活動」
講師に前川昭一様

詳しいパンフレットは来週ホームページに記載します。

第1352回例会

「諏訪湖の浄化の現状」

森山 広会員卓話
担当 社会奉仕委員会

本例会は、萩田委員長率いる社会奉仕委員会より「諏訪湖の浄化の現状」ということで卓話を依頼されました。私は、帰郷して30年諏訪湖と共に生業をしてまいりました。きっとその視点から依頼されたと思います。私にとっては諏訪湖が大好きであり、諏訪湖ロータリークラブの原点である「諏訪湖を心の鏡として奉仕の誠を尽くそう！！」に共感するものであり、7年前に渡邊会員に入会を勧められた入会動機でもあります。今回、先輩会員と多くの新しい会員の皆様の前で卓話をさせて頂ける機会を与えて頂きましたことに、まずはお礼を申し上げたいと思います。「ありがとうございました」

さて、私がこの例会でお話したかったことは、

諏訪湖についての存在認識の確認(大きさや、水深・湖の位置づけ等)です。次に、本年度会長である、平山会長の諏訪湖への取り組みと、諏訪湖ロータリークラブの歴代会長がどのように



熱く諏訪湖の浄化に取り組まれてこられたのかをもう一度振り返り、一貫して原点からそれていない活動をしてきたことを新会員の方を含め、再認識していただきたいことにありました。そして、環境面のデータを基に、今の諏訪湖の状態を知っていただくと共に、諏訪湖に関わる漁業や観光面からの問題点を私なりにお話させて頂きました。その中で共通する課題は何であるのか？(ヒシ繁茂)今後の課題となることはどんなことがあるのかを挙げさせて頂きました。(水深・河川…)最後に私たち諏訪湖ロータリークラブや諏訪湖に関わる各種団体が目指す「諏訪湖」について今後の取り組みと、諏訪湖浄化基金や取り組みの資金等の提議させて頂きました。また、その中でまったく諏訪湖とは縁のない団体の諏訪湖のヒシ取りの活動の紹介をさせて頂きました。短時間の中で説明不足の点もたくさんあったかと思いますが、会員の皆様の心中にひとつでも残ることがあれば嬉しく思います。私も例会に参加できないことが多いのですがロータリアンとして皆様と活動させて頂くこと、たまの参加にあたたかく迎えていただくことに感謝し例会報告としたいと思います。

(卓話に使われたパワーポイントはホームページに記載しました)

諏訪湖ロータリークラブ30周年記念事業に関する会員意識調査がクラブ奉仕委員会より発表されました。